



連絡先

小竹ひろ子事務所

文京区白山3-2-5

電話 3815-9301

FAX 3815-7663

くらし 子育て 防災

3つの安心 届けます

橋下氏「慰安婦は必要」発言は女性の人権を踏み躪る暴言

「人権意識のない党に大切な議席を渡す訳にはいきません」

私は、茗荷谷駅前で十四日、新婦人中央本部後援会のみなさんとの宣伝行動にとりくみ、橋下徹・維新の会共同代表の一連の発言について触れ、とりわけ「慰安婦制度の必要性を説く発言は、女性の人権を踏み躪る暴言で市長としての資格も国政を語る資格もなく、こんな政党に議席を渡すわけにはいきません」と訴えました。



日本維新の会・橋下徹共同代表が十三日、旧日本軍の「従軍慰安婦」問題について「慰安婦制度というものが必要なのは誰だっ てわかる」を発言したことに對して、私は女性として人間として、怒りを禁じえません。
橋下氏は「あれだけ銃弾が飛び交うなかで命をかけて、そこを走っていくときに、猛者集団は、精神的にも高ぶっている集団は、

どこかで休息させてあげようとおもったら慰安婦制度が必要だ」と発言。公人としてその人権感覚を疑う暴言です。
しかも、沖縄では、海兵隊司令官に「もっと風俗業を活用してほしい」と迫ると、さすがに相手は「凍りついた」そうですが、こうした発言は「政党の党首としても、市長としても、失格であり、許すことはできません」と訴

えました。
石原氏の憲法に對し繰り返し返すされる暴言も思いおこすと、背筋を寒くする思いがします。これからも、この二人を党首としていただく維新の会の人に、都議会への議席を渡すわけにはいかないことをつよく訴えていきたいと思ひます。
私の訴えを聞いていた、子ども連れのおかあさんたちからは「がんばってください」「応援していま たたかい 激励に胸 がつまり ました。



ひろ子かけ歩き活動日誌

5月11日(土) 関川地域と板倉地域の「都・区政報告会」に参加しました



「本郷・湯島のみなさんからお花をいただきありがとうございます」とうかがいます。がんばります」

「朝からの雨で天候が悪いなか、参加いただきありがとうございます」とうかがいました」



私は、報告の中で、大型開発を優先し、暮らしと福祉をおさなにする猪瀬都政を批判。「特養ホーム、認可保育所プール、園庭付き」増設、災害対策等と、地に足の着いた政策を掲げ、不要不急の大型開発を見直し、スウェーデン一國と同等規模の予算(年間十二兆円)を持つ東京都の税金の一部を活用すれば、都民の皆さんの切実な願いを実現することができると強調し、願ひ実現の議席を文京でも」と訴えました。

日本共産党演説会 5月22日(水)午後6時開場

会場：有明コロシアム

志位委員長がお話します。私も挨拶致します。ぜひご参加下さい。

文京区から会場までの送迎マイクロバス(合計4台)がでます。都合の良い停車箇所からお乗り下さい。今週の日曜版におりこみのチラシをご覧ください。



第2回震災シンポジウムは、5月20日から6月1日午後6時半区民センター3Aに変更しました